

Window11 を中心にマクロを含むファイルが開けなくなったときの対処法

最近、マイクロソフトのマクロに対するセキュリティが厳しくなったらしく、Window11 を中心にメールや Web サイトからダウンロードなどしたマクロを含むエクセルファイルを開こうとすると、以下のようなメッセージが表示され、開けないときがあります。



このようなときは、いったんファイルを終了して、そのファイル名の上でマウスを右クリックして、プロパティを選択してください。



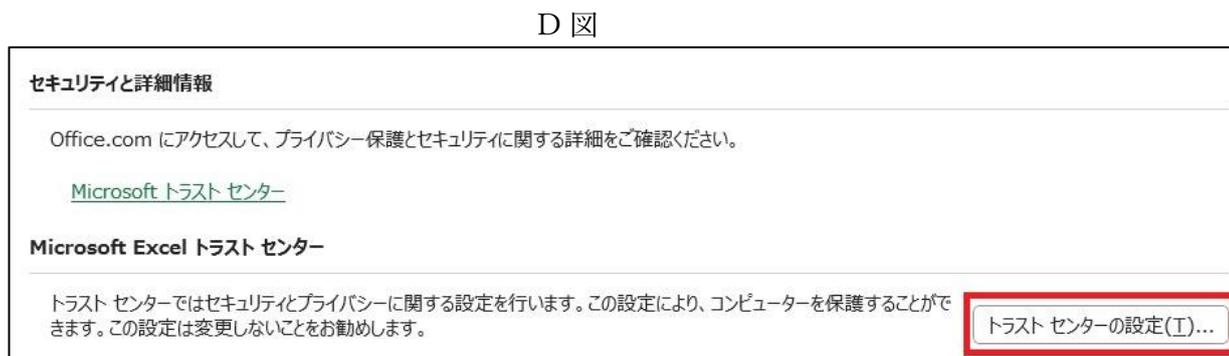
上図の下の方にある「許可する」にチェックを入れて、「OK」ボタンを押してください。再度ファイルを開けば、普通に開けて使用できるようになります。

※それでもダメな場合は、以下の作業を行ってください。（初めから、こちらの作業をやっておけばよかった、ということもあるかもしれません。）

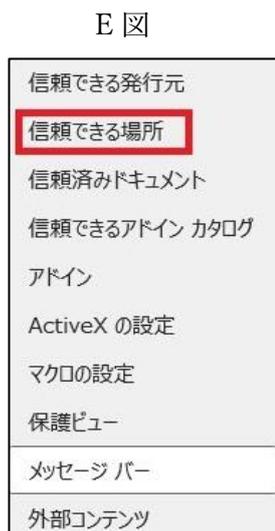
- ① エクセルを開いて、A 図の左上の「ファイル」をクリックします。次に、B 図の一番下の「オプション」をクリックします。そして、C 図の一番下の「トラストセンター」または「セキュリティーセンター」をクリックします。



- ② D 図で「トラストセンターの設定」または「セキュリティーセンターの設定」をクリックします。



- ③ E 図で「信頼できる場所」をクリックします。



- ④ ここからが重要です。F 図のメニュー画面が表示されます。G 図のように「自分のネットワーク上にある・・・」にチェックを入れ、「新しい場所の追加」をクリックします。

F 図

信頼できる場所

警告: これらの場所はすべて、ファイルを開くのに安全な場所であると見なされます。場所を変更または追加する場合は、その場所が安全であることを確認してください。

パス	説明	更新日
ユーザー指定の場所		
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Templat	Excel の既定の場所: アプリケーション テンプレート	
C:\Users\beerk\AppData\Roaming\Microsoft\Excel\X	Excel の既定の場所: ユーザー スタートアップ	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: Excel スタートアップ	
C:\Users\beerk\AppData\Roaming\Microsoft\Templa	Excel の既定の場所: ユーザー テンプレート	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: Office スタートアップ	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: アドイン	
ポリシーによって設定された場所		

パス(P): C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Templates\

説明(D): Excel の既定の場所: アプリケーション テンプレート

更新日:

リフォルダー: 許可

自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する (推奨しません)(W)

すべての信頼できる場所を無効にする(D)

新しい場所の追加(A)... 削除(R) 変更(M)...

OK キャンセル

G 図

信頼できる場所

警告: これらの場所はすべて、ファイルを開くのに安全な場所であると見なされます。場所を変更または追加する場合は、その場所が安全であることを確認してください。

パス	説明	更新日
ユーザー指定の場所		
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Templat	Excel の既定の場所: アプリケーション テンプレート	
C:\Users\beerk\AppData\Roaming\Microsoft\Excel\X	Excel の既定の場所: ユーザー スタートアップ	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: Excel スタートアップ	
C:\Users\beerk\AppData\Roaming\Microsoft\Templa	Excel の既定の場所: ユーザー テンプレート	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: Office スタートアップ	
C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Office16	Excel の既定の場所: アドイン	
ポリシーによって設定された場所		

パス(P): C:\Program Files (x86)\Microsoft Office\root\Templates\

説明(D): Excel の既定の場所: アプリケーション テンプレート

更新日:

サブフォルダー: 許可

自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する (推奨しません)(W)

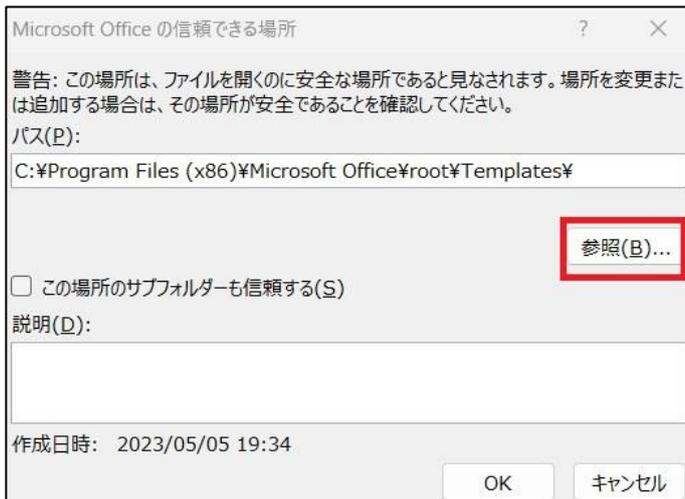
すべての信頼できる場所を無効にする(D)

新しい場所の追加(A)... 削除(R) 変更(M)...

OK キャンセル

- ⑤ H 図のようなメニューが表示されるので、「参照」をクリックして、エクセルファイルが保存されているフォルダを選択します。

H 図



I 図では、ドキュメント、デスクトップ、ダウンロードなど、たいていのファイルを保存しているフォルダのトップにある「ユーザー」を選択しました。ドキュメントにだけ保存している場合はドキュメントを選択するだけで構いません。忘れていけないのは、「この場所のサブフォルダーも信頼する」にチェックを入れることです。それをしないと、フォルダの階層の下にあるフォルダのエクセルファイルには適用されなくなるので、必ずチェックを入れてください。あとは「OK」を続けてクリックしていけば、マクロがブロックされないでエクセルが開くようになります。

I 図

